

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が増減なし、「やや良くなっている」が3.1ポイント減少、「変わらない」が3.4ポイント減少、「やや悪くなっている」が5.7ポイント増加、「悪くなっている」が0.9ポイント増加により、全体では2.7ポイント減少の37.5となり、景気の横ばいを示す50を8期連続で下回った。

判断理由では、10月1日からの消費税増税直後と比べて回復したとする声や、好天の影響などのプラス面をあげる声がある一方で、駆け込み需要の反動や、増税の影響が出始めたことによる消費意欲の落ち込み、暖冬による季節商品の売上低迷などといったマイナス面をあげる声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体及び企業関連でそれぞれ2.8ポイント減少し、雇用関連で増減なしとなった。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、東青地区で増加し、他の3地区で減少した。DIは、全地区で景気の横ばいを示す50を下回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が増減なし、「やや良くなる」が2.9ポイント増加、「変わらない」が26.7ポイント増加、「やや悪くなる」が22.5ポイント減少、「悪くなる」が7.1ポイント減少により、全体では10.0ポイント増加の43.8となり、景気の横ばいを示す50を3期連続で下回った。

判断理由では、東京オリンピック開催による経済効果や、卒業・入学シーズンによる消費の上向きを期待する声があった一方で、消費税増税の影響が長引くことによる個人消費の停滞や、国内外の社会情勢に対する不安、人手不足への懸念をあげる声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、全分野でポイントが増加した。家計関連全体で10.9ポイント、企業関連で7.0ポイント、雇用関連で7.2ポイント増となった。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区でポイントが増加した。DIは、全地区で景気の横ばいを示す50を下回った。

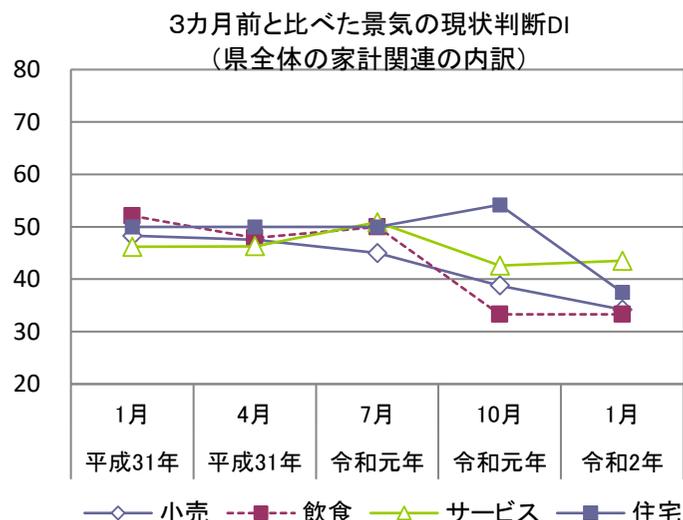
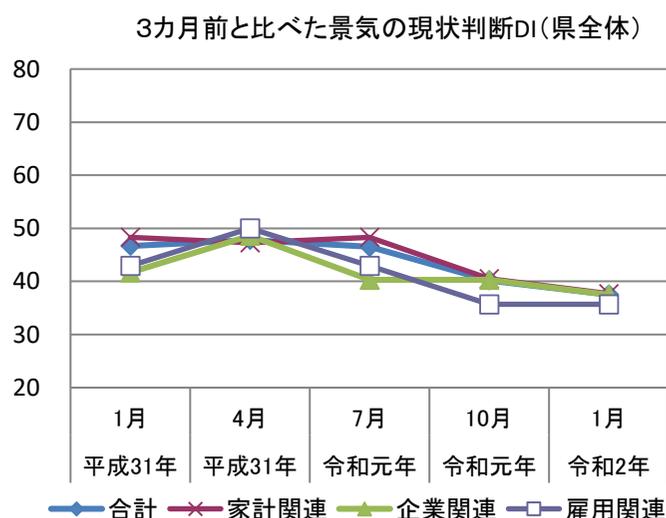
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

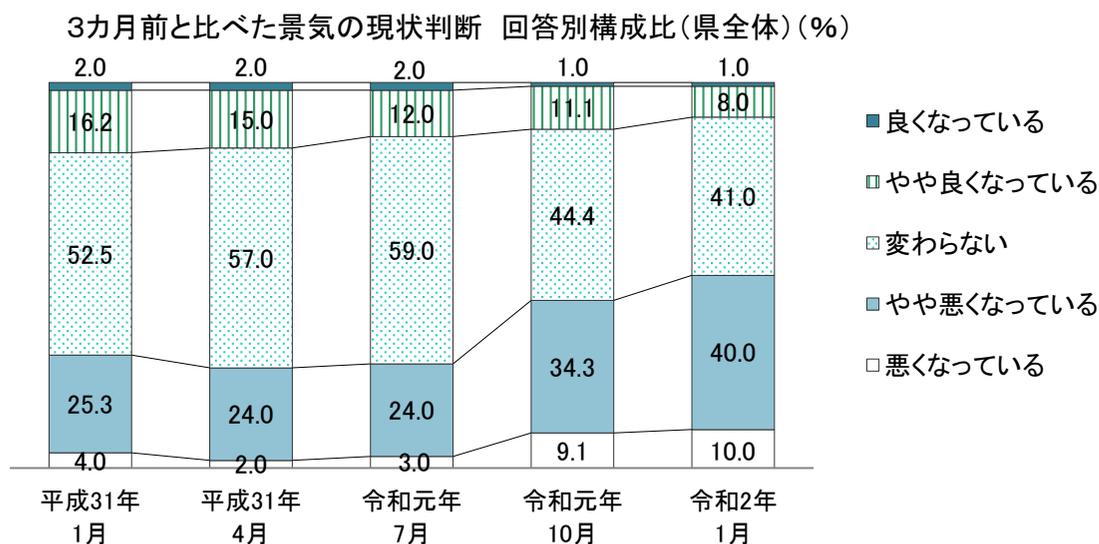
n = 100

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	46.7	47.8	46.5	40.2	37.5	▲ 2.7
家計関連	48.3	47.3	48.3	40.5	37.7	▲ 2.8
小売	48.3	47.5	45.0	38.8	34.2	▲ 4.6
飲食	52.1	47.9	50.0	33.3	33.3	0.0
サービス	46.2	46.3	50.9	42.6	43.5	0.9
住宅	50.0	50.0	50.0	54.2	37.5	▲ 16.7
企業関連	41.7	48.6	40.3	40.3	37.5	▲ 2.8
雇用関連	42.9	50.0	42.9	35.7	35.7	0.0



②回答別構成比 (%)

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
良くなっている	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	0.0
やや良くなっている	16.2	15.0	12.0	11.1	8.0	▲ 3.1
変わらない	52.5	57.0	59.0	44.4	41.0	▲ 3.4
やや悪くなっている	25.3	24.0	24.0	34.3	40.0	5.7
悪くなっている	4.0	2.0	3.0	9.1	10.0	0.9



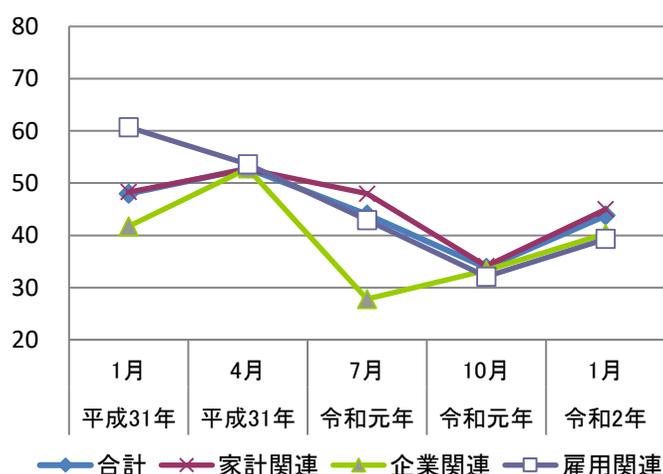
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

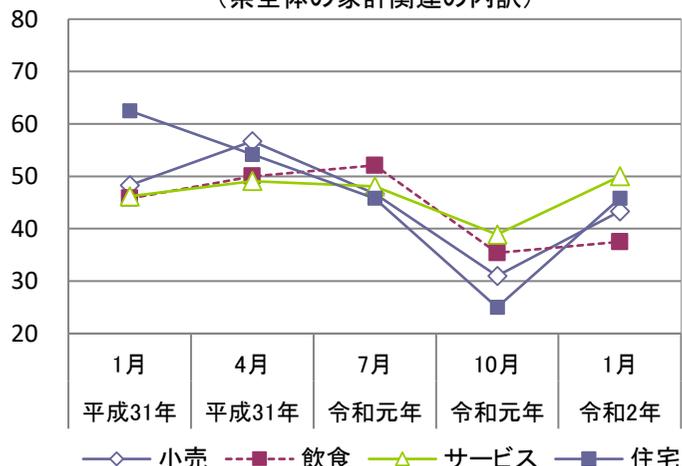
n = 100

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	48.0	52.8	44.0	33.8	43.8	10.0
家計関連	48.3	52.7	48.0	34.1	45.0	10.9
小売	48.3	56.7	46.7	31.0	43.3	12.3
飲食	45.8	50.0	52.1	35.4	37.5	2.1
サービス	46.2	49.1	48.1	38.9	50.0	11.1
住宅	62.5	54.2	45.8	25.0	45.8	20.8
企業関連	41.7	52.8	27.8	33.3	40.3	7.0
雇用関連	60.7	53.6	42.9	32.1	39.3	7.2

3カ月後の景気の先行き判断DI(県全体)



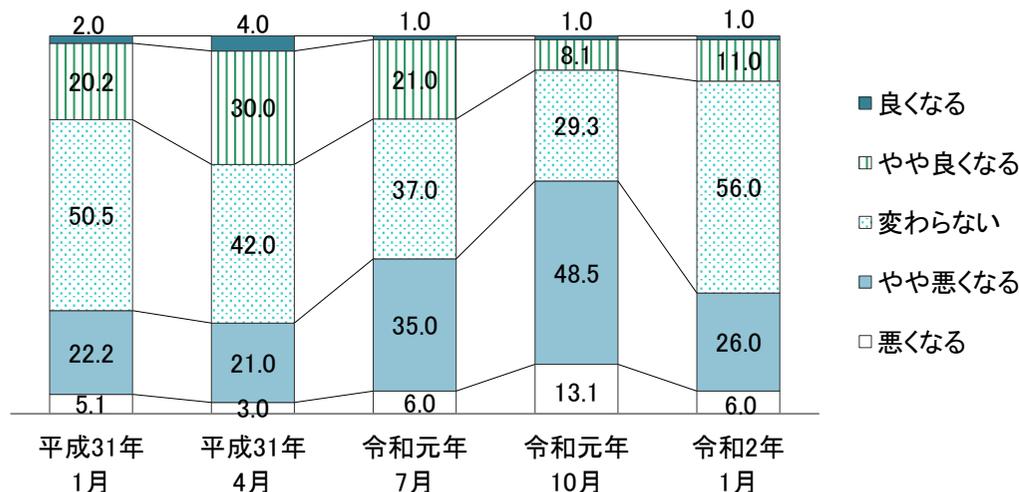
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県全体の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
良くなる	2.0	4.0	1.0	1.0	1.0	0.0
やや良くなる	20.2	30.0	21.0	8.1	11.0	2.9
変わらない	50.5	42.0	37.0	29.3	56.0	26.7
やや悪くなる	22.2	21.0	35.0	48.5	26.0	▲ 22.5
悪くなる	5.1	3.0	6.0	13.1	6.0	▲ 7.1

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県全体)(%)



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

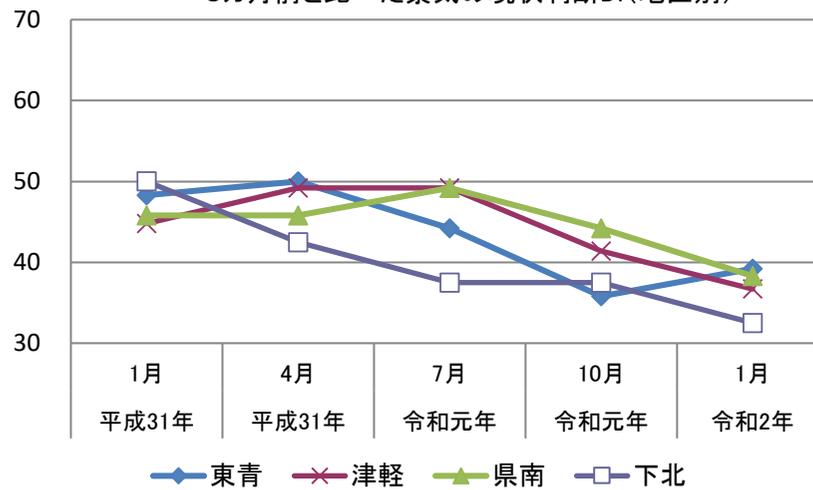
<地区別>

①DI

n = 100

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	46.7	47.8	46.5	40.2	37.5	▲ 2.7
東青	48.3	50.0	44.2	35.8	39.2	3.4
津軽	44.8	49.2	49.2	41.4	36.7	▲ 4.7
県南	45.8	45.8	49.2	44.2	38.3	▲ 5.9
下北	50.0	42.5	37.5	37.5	32.5	▲ 5.0

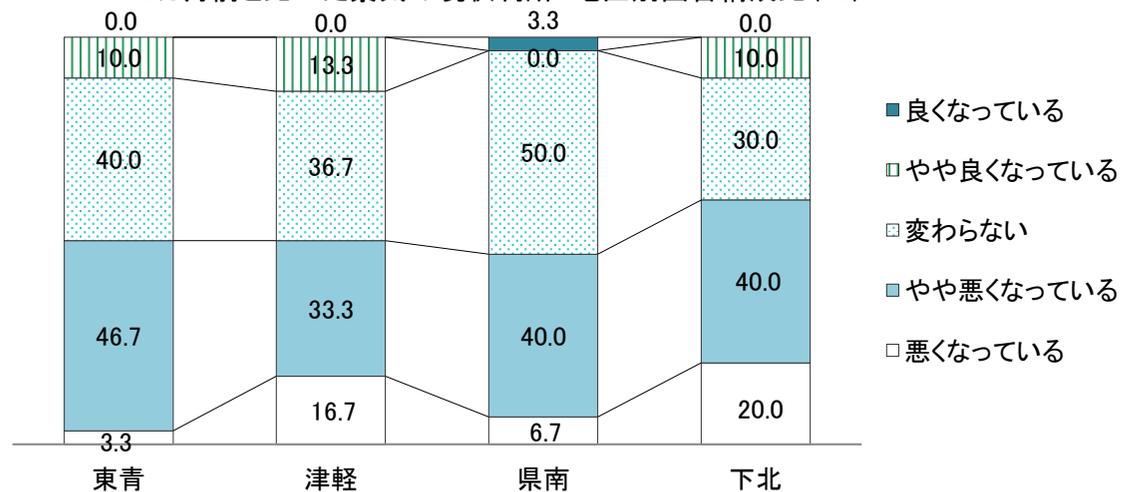
3カ月前と比べた景気の現状判断DI(地区別)



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	0.0	0.0	3.3	0.0
やや良くなっている	10.0	13.3	0.0	10.0
変わらない	40.0	36.7	50.0	30.0
やや悪くなっている	46.7	33.3	40.0	40.0
悪くなっている	3.3	16.7	6.7	20.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 地区別回答構成比 (%)



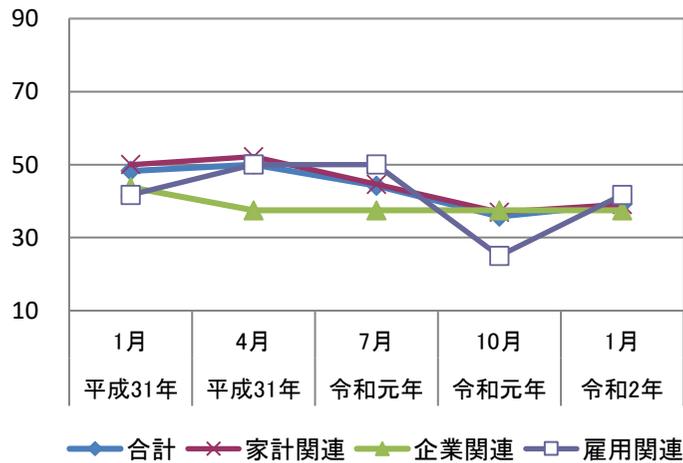
<東青地区>

①DI

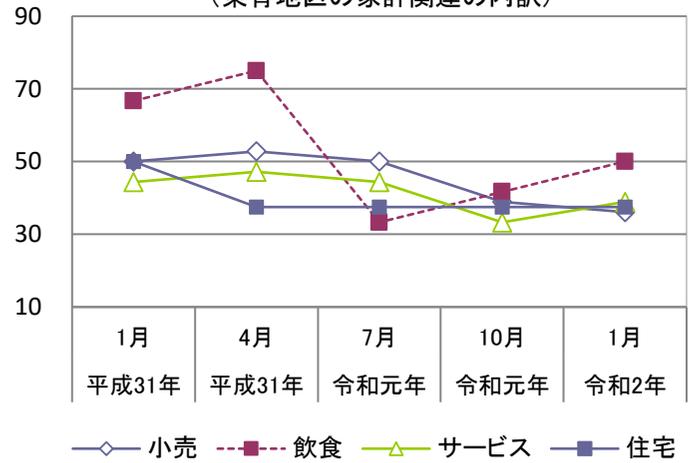
n = 30

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	48.3	50.0	44.2	35.8	39.2	3.4
家計関連	50.0	52.2	44.6	37.0	39.1	2.1
小売	50.0	52.8	50.0	38.9	36.1	▲ 2.8
飲食	66.7	75.0	33.3	41.7	50.0	8.3
サービス	44.4	47.2	44.4	33.3	38.9	5.6
住宅	50.0	37.5	37.5	37.5	37.5	0.0
企業関連	43.8	37.5	37.5	37.5	37.5	0.0
雇用関連	41.7	50.0	50.0	25.0	41.7	16.7

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



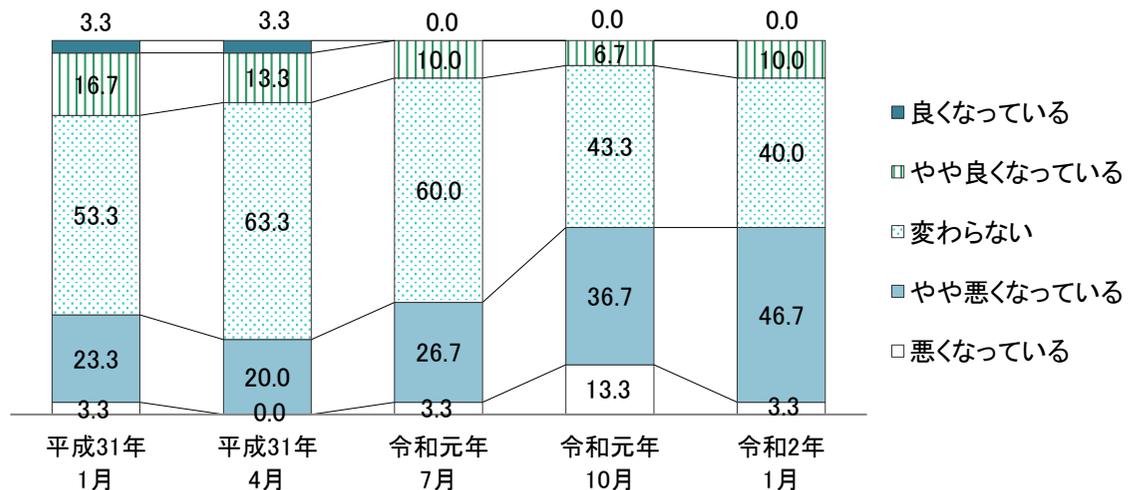
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	16.7	13.3	10.0	6.7	10.0	3.3
変わらない	53.3	63.3	60.0	43.3	40.0	▲ 3.3
やや悪くなっている	23.3	20.0	26.7	36.7	46.7	10.0
悪くなっている	3.3	0.0	3.3	13.3	3.3	▲ 10.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



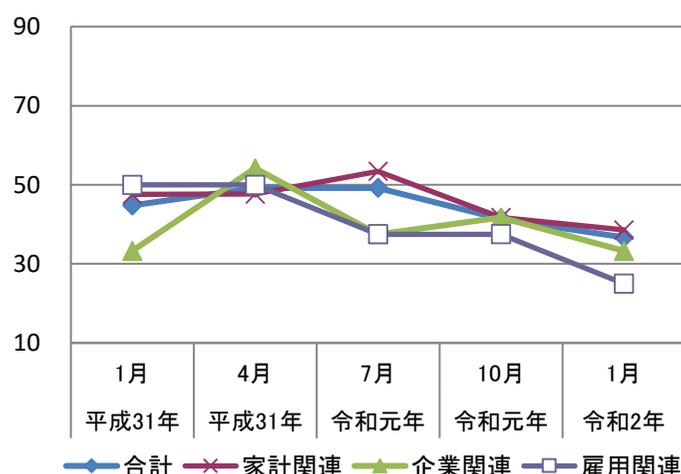
<津軽地区>

①D I

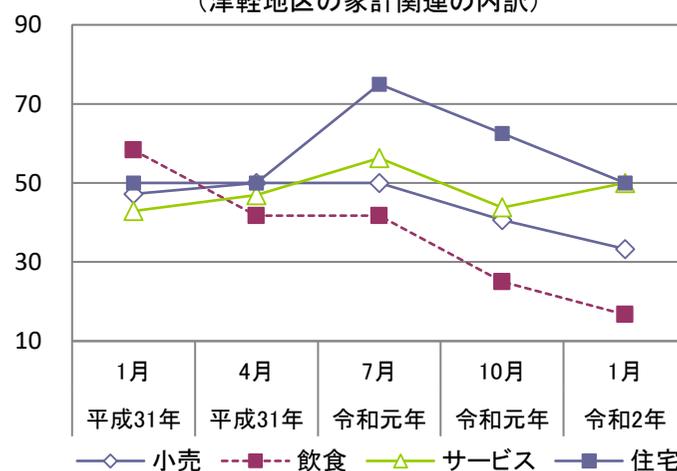
n = 30

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	44.8	49.2	49.2	41.4	36.7	▲ 4.7
家計関連	47.6	47.7	53.4	41.7	38.6	▲ 3.1
小売	47.2	50.0	50.0	40.6	33.3	▲ 7.3
飲食	58.3	41.7	41.7	25.0	16.7	▲ 8.3
サービス	42.9	46.9	56.3	43.8	50.0	6.2
住宅	50.0	50.0	75.0	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	33.3	54.2	37.5	41.7	33.3	▲ 8.4
雇用関連	50.0	50.0	37.5	37.5	25.0	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



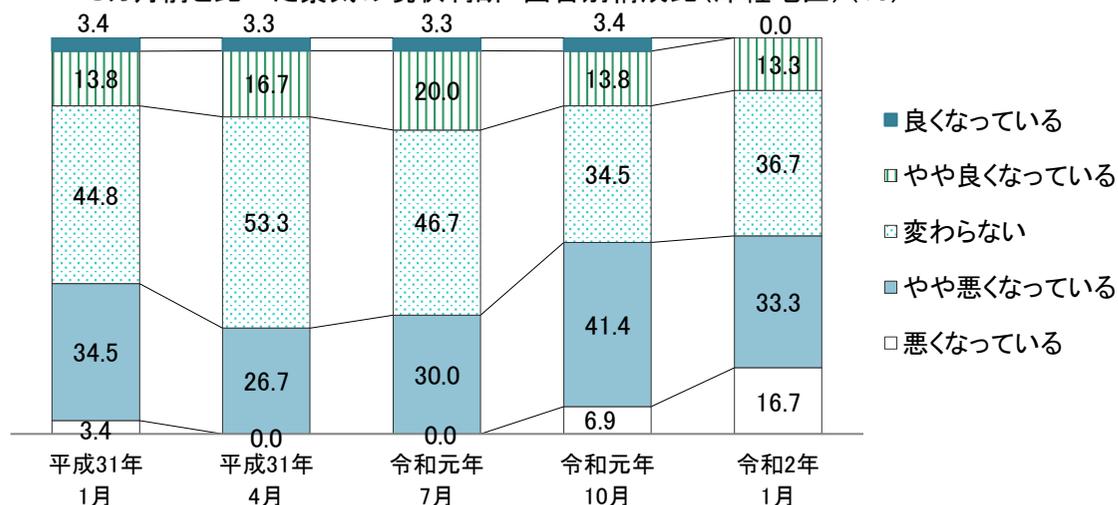
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
良くなっている	3.4	3.3	3.3	3.4	0.0	▲ 3.4
やや良くなっている	13.8	16.7	20.0	13.8	13.3	▲ 0.5
変わらない	44.8	53.3	46.7	34.5	36.7	2.2
やや悪くなっている	34.5	26.7	30.0	41.4	33.3	▲ 8.1
悪くなっている	3.4	0.0	0.0	6.9	16.7	9.8

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



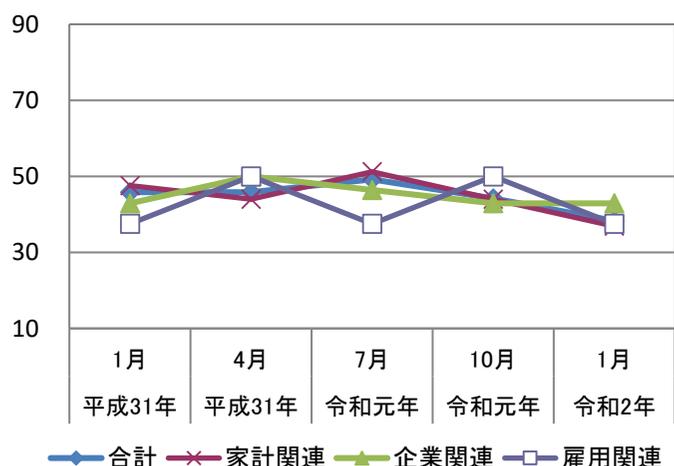
< 県南地区 >

① D I

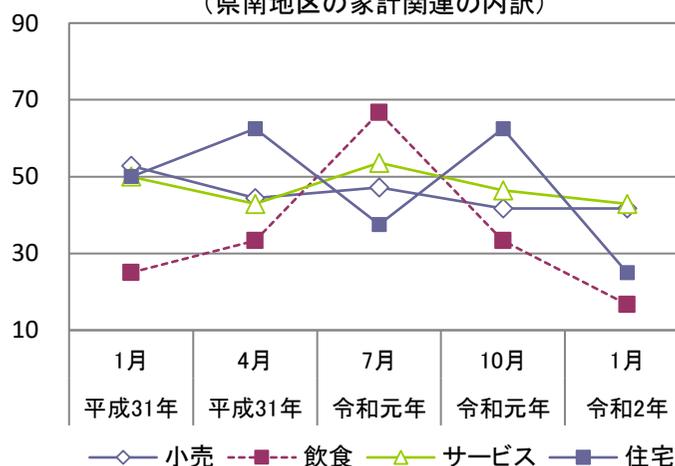
n = 30

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	45.8	45.8	49.2	44.2	38.3	▲ 5.9
家計関連	47.6	44.0	51.2	44.0	36.9	▲ 7.1
小売	52.8	44.4	47.2	41.7	41.7	0.0
飲食	25.0	33.3	66.7	33.3	16.7	▲ 16.6
サービス	50.0	42.9	53.6	46.4	42.9	▲ 3.5
住宅	50.0	62.5	37.5	62.5	25.0	▲ 37.5
企業関連	42.9	50.0	46.4	42.9	42.9	0.0
雇用関連	37.5	50.0	37.5	50.0	37.5	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



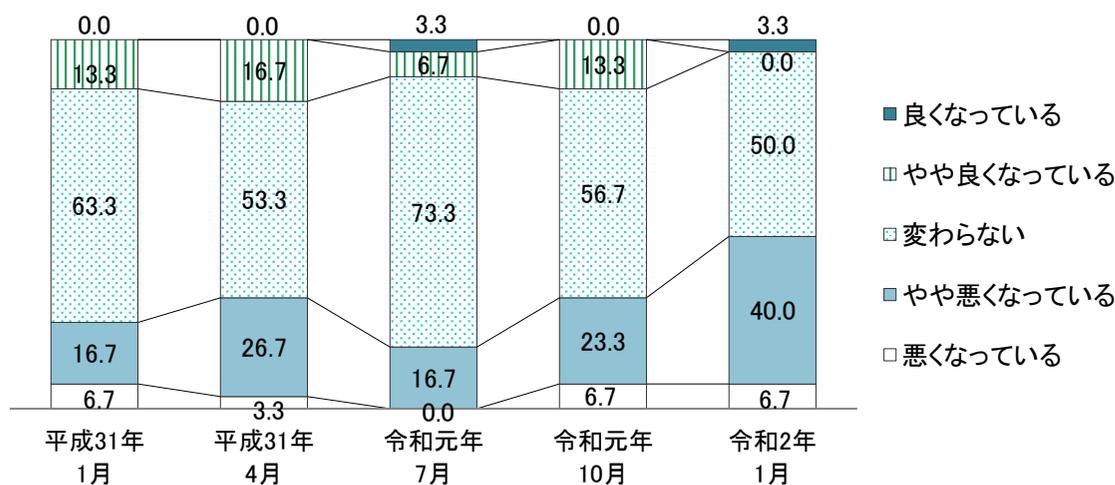
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	3.3	0.0	3.3	3.3
やや良くなっている	13.3	16.7	6.7	13.3	0.0	▲ 13.3
変わらない	63.3	53.3	73.3	56.7	50.0	▲ 6.7
やや悪くなっている	16.7	26.7	16.7	23.3	40.0	16.7
悪くなっている	6.7	3.3	0.0	6.7	6.7	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)



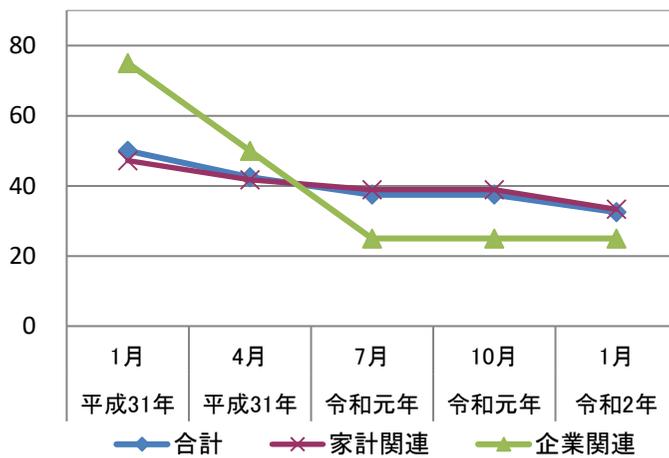
<下北地区> (参考)

①DI

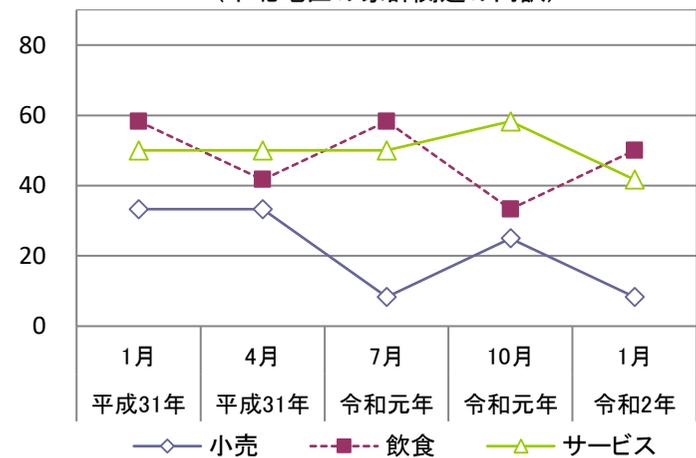
n = 10

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	50.0	42.5	37.5	37.5	32.5	▲ 5.0
家計関連	47.2	41.7	38.9	38.9	33.3	▲ 5.6
小売	33.3	33.3	8.3	25.0	8.3	▲ 16.7
飲食	58.3	41.7	58.3	33.3	50.0	▲ 16.7
サービス	50.0	50.0	50.0	58.3	41.7	▲ 16.6
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



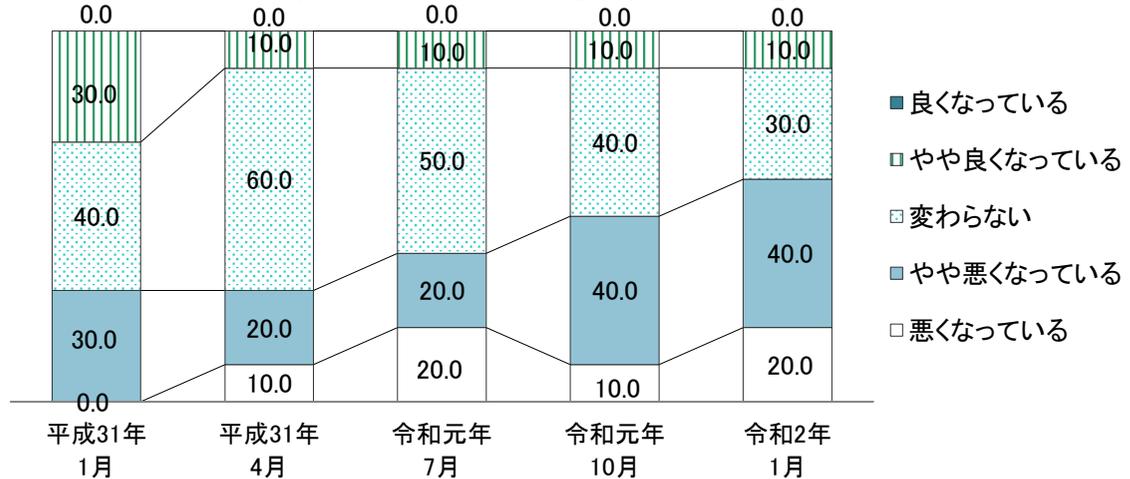
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	30.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0
変わらない	40.0	60.0	50.0	40.0	30.0	▲ 10.0
やや悪くなっている	30.0	20.0	20.0	40.0	40.0	0.0
悪くなっている	0.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)(%)



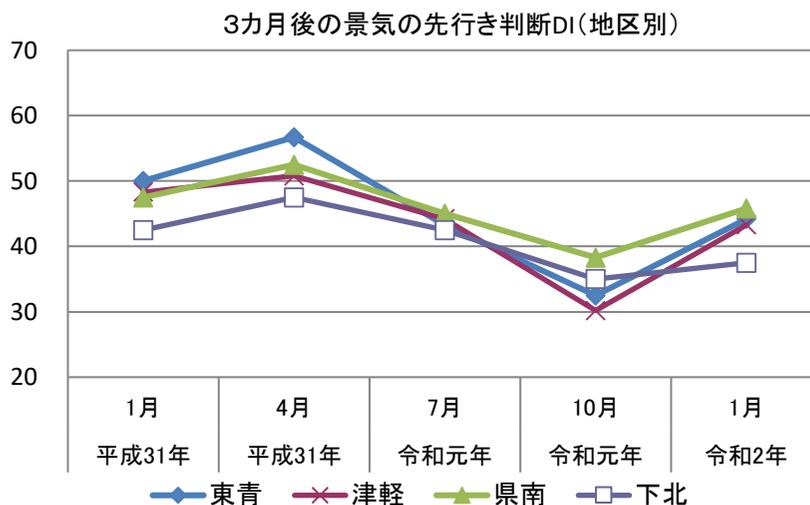
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

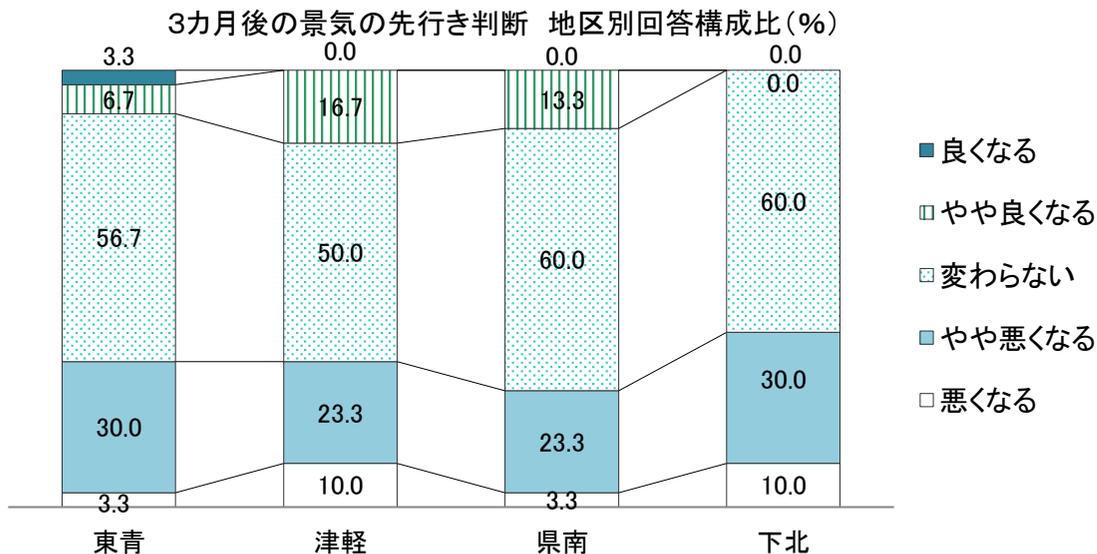
n = 100

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	48.0	52.8	44.0	33.8	43.8	10.0
東青	50.0	56.7	43.3	32.5	44.2	11.7
津軽	48.3	50.8	44.2	30.2	43.3	13.1
県南	47.5	52.5	45.0	38.3	45.8	7.5
下北	42.5	47.5	42.5	35.0	37.5	2.5



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	6.7	16.7	13.3	0.0
変わらない	56.7	50.0	60.0	60.0
やや悪くなる	30.0	23.3	23.3	30.0
悪くなる	3.3	10.0	3.3	10.0



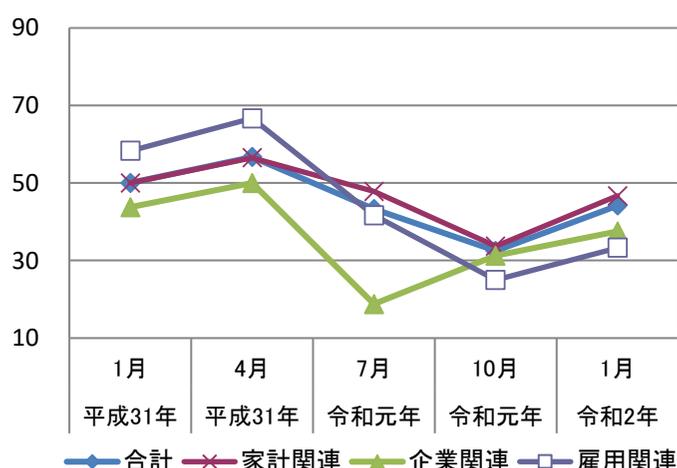
<東青地区>

①DI

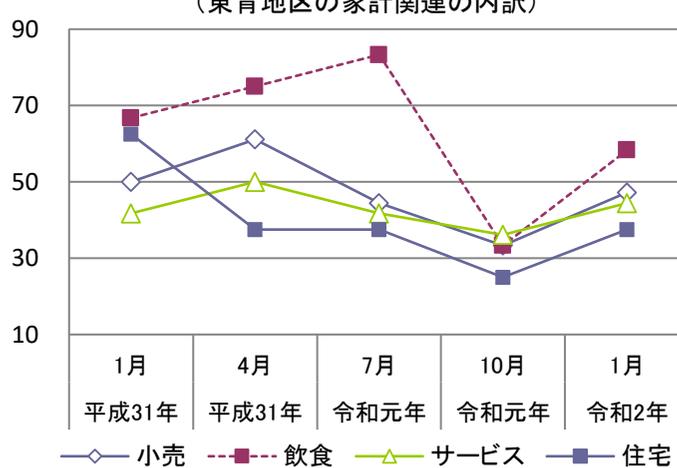
n = 30

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	50.0	56.7	43.3	32.5	44.2	11.7
家計関連	50.0	56.5	47.8	33.7	46.7	13.0
小売	50.0	61.1	44.4	33.3	47.2	13.9
飲食	66.7	75.0	83.3	33.3	58.3	25.0
サービス	41.7	50.0	41.7	36.1	44.4	8.3
住宅	62.5	37.5	37.5	25.0	37.5	12.5
企業関連	43.8	50.0	18.8	31.3	37.5	6.2
雇用関連	58.3	66.7	41.7	25.0	33.3	8.3

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



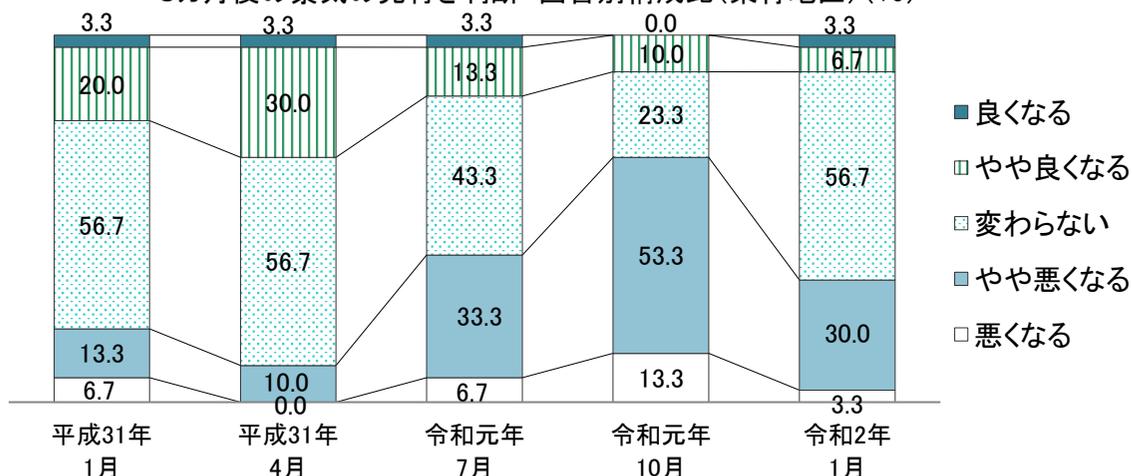
3カ月後の景気の先行き判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
良くなる	3.3	3.3	3.3	0.0	3.3	3.3
やや良くなる	20.0	30.0	13.3	10.0	6.7	▲ 3.3
変わらない	56.7	56.7	43.3	23.3	56.7	33.4
やや悪くなる	13.3	10.0	33.3	53.3	30.0	▲ 23.3
悪くなる	6.7	0.0	6.7	13.3	3.3	▲ 10.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)(%)



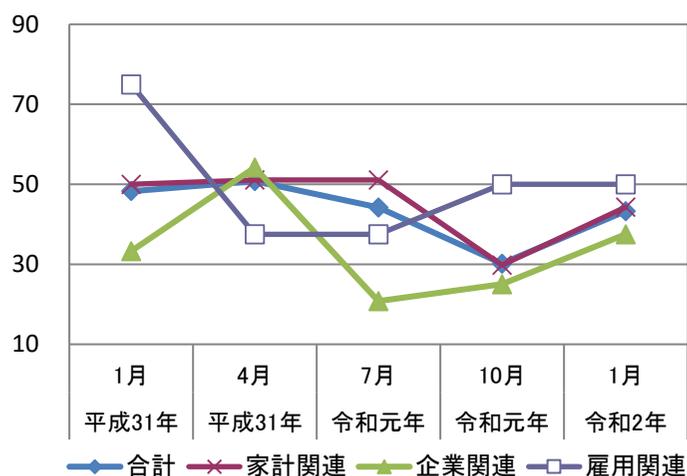
<津軽地区>

①DI

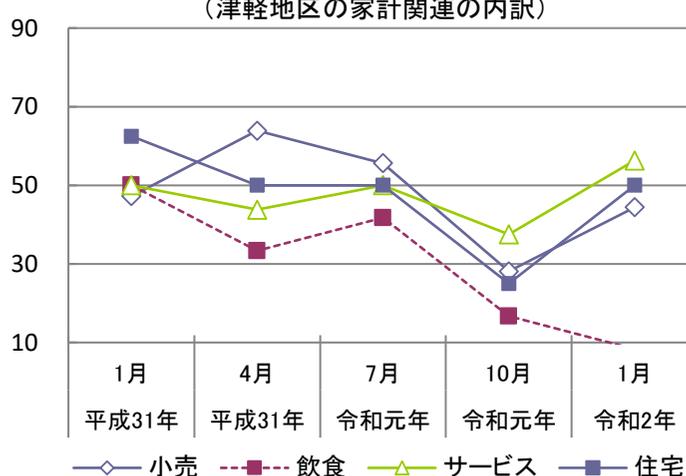
n=30

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	48.3	50.8	44.2	30.2	43.3	13.1
家計関連	50.0	51.1	51.1	29.8	44.3	14.5
小売	47.2	63.9	55.6	28.1	44.4	16.3
飲食	50.0	33.3	41.7	16.7	8.3	▲ 8.4
サービス	50.0	43.8	50.0	37.5	56.3	18.8
住宅	62.5	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0
企業関連	33.3	54.2	20.8	25.0	37.5	12.5
雇用関連	75.0	37.5	37.5	50.0	50.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



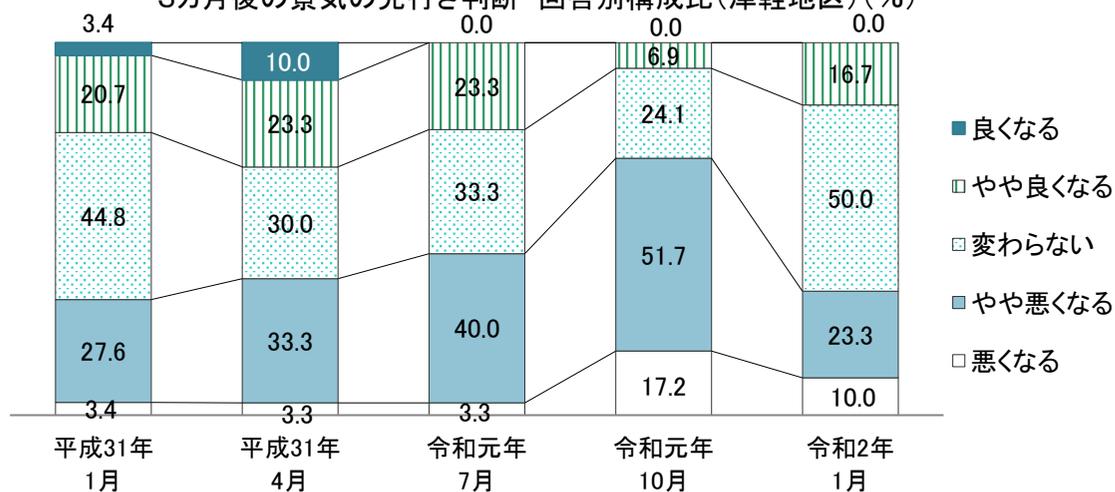
3カ月後の景気の先行き判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
良くなる	3.4	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.7	23.3	23.3	6.9	16.7	9.8
変わらない	44.8	30.0	33.3	24.1	50.0	25.9
やや悪くなる	27.6	33.3	40.0	51.7	23.3	▲ 28.4
悪くなる	3.4	3.3	3.3	17.2	10.0	▲ 7.2

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



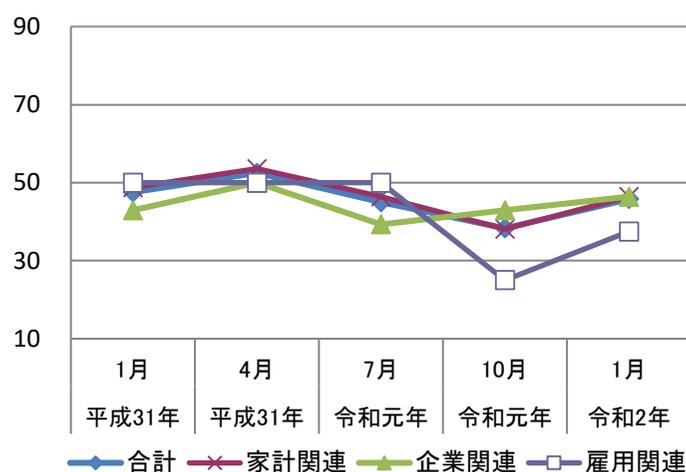
< 県南地区 >

① D I

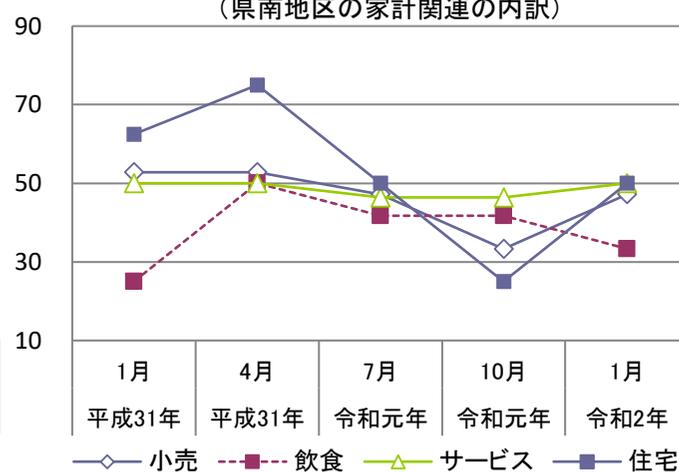
n = 30

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	47.5	52.5	45.0	38.3	45.8	7.5
家計関連	48.8	53.6	46.4	38.1	46.4	8.3
小売	52.8	52.8	47.2	33.3	47.2	13.9
飲食	25.0	50.0	41.7	41.7	33.3	▲ 8.4
サービス	50.0	50.0	46.4	46.4	50.0	3.6
住宅	62.5	75.0	50.0	25.0	50.0	25.0
企業関連	42.9	50.0	39.3	42.9	46.4	3.5
雇用関連	50.0	50.0	50.0	25.0	37.5	12.5

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



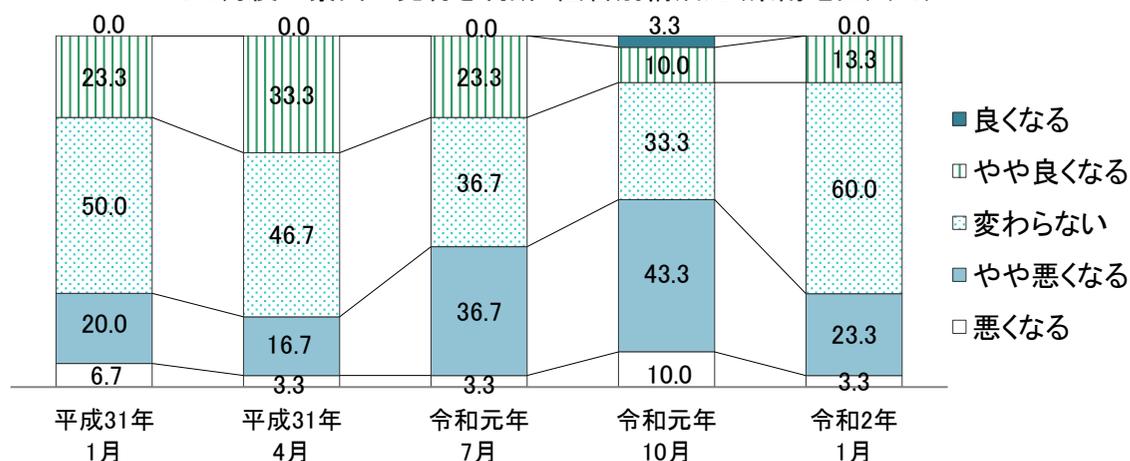
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなる	23.3	33.3	23.3	10.0	13.3	3.3
変わらない	50.0	46.7	36.7	33.3	60.0	26.7
やや悪くなる	20.0	16.7	36.7	43.3	23.3	▲ 20.0
悪くなる	6.7	3.3	3.3	10.0	3.3	▲ 6.7

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)(%)



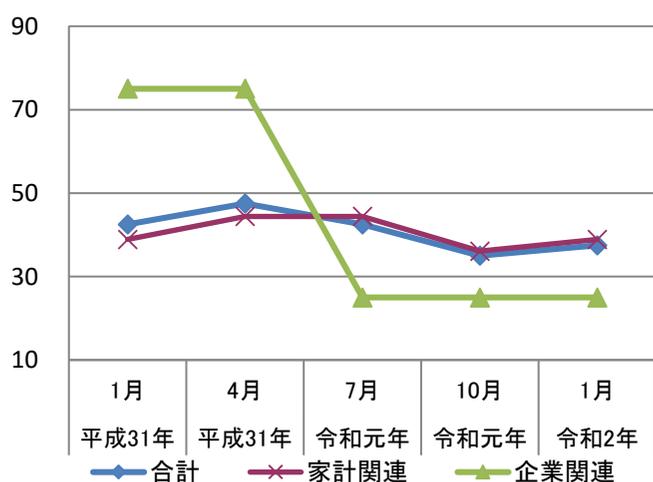
<下北地区> (参考)

①DI

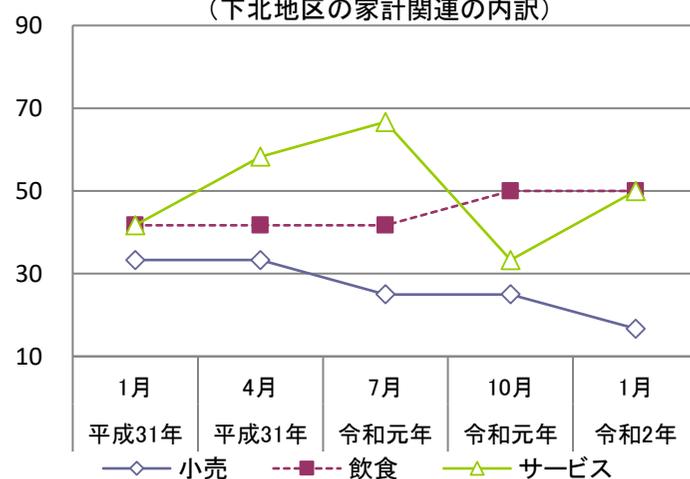
n = 10

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	42.5	47.5	42.5	35.0	37.5	2.5
家計関連	38.9	44.4	44.4	36.1	38.9	2.8
小売	33.3	33.3	25.0	25.0	16.7	▲ 8.3
飲食	41.7	41.7	41.7	50.0	50.0	0.0
サービス	41.7	58.3	66.7	33.3	50.0	16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月後の景気の先行き判断DI(下北地区)



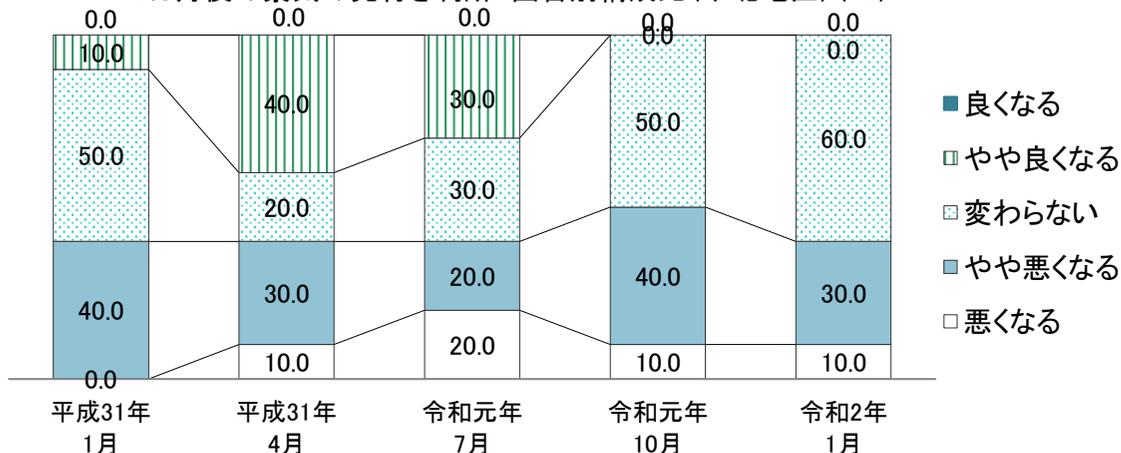
3カ月後の景気の先行き判断DI
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	10.0	40.0	30.0	0.0	0.0	0.0
変わらない	50.0	20.0	30.0	50.0	60.0	10.0
やや悪くなる	40.0	30.0	20.0	40.0	30.0	▲ 10.0
悪くなる	0.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)(%)



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	県南	一般小売店	3カ月前とは増税直後の最悪の月。良くて当り前。
やや良くなっている	家計	東青	卸売業	3カ月前は10月と思い、消費増税後なので。
			一般飲食店	天気(雪)がいつもの冬に比べても少ないので人がけっこうコンスタントに来てくれると思う。
		津軽	美容院	キャッシュレス支払のお得感でキャッシュレスが増えた。
			都市型ホテル	上向きにならないと持ちこたえられない。
			設計事務所	春以降に計画している物件が動き始めた。例年通りの流れであるが、物件数が増えている。
	下北	スナック	10月、11月が、とても悪かったのだ。	
	企業	津軽	電気機械製造	受注数量が増加している。
変わらない	家計	東青	スナック	正直経営者の年齢のせいも有ると思いますが、景気も悪いです。だけど20代~80代のお客様、御来店になります。楽しく前向きに頑張るしか有りません。
			一般小売店	思いのほか増税の影響を感じないから。
			商店街	過去3回(3, 5, 8%)の増税時と比較すると最も影響が少ないと感じられる→慣れすぎではと思われる!
			観光型ホテル・旅館	忘新年会時期であるが昨年より若干減少している。個人客はまずまず順調。
			旅行代理店	消費税10%になったが、売上げは前年比と同じ。良くなっているのか? 変わらない。
			設計事務所	微妙な景気変動は感じ得ないまま推移した。
	津軽	コンビニ	消費税upの駆け込みと増税分とプレミアム商品券の分で同じくなっていると思う。	
		スナック	年末年始は少し活気はあるが、これからが微妙…。	
		観光名所等	過疎地域の加速化が目立ってきた。台風被害地域の過疎化、学校の統廃合、ローカル線の赤字拡大、商店街の消滅のニュースなど目につく。	
		パチンコ	特に変化が無いから。	
	県南	衣料専門店	台風19号などの自然災害について地域的な被害がなく、政治体制など生活全般の変化が増税以外では無いから。	
		商店街	一時は増税の影響で落ち込んだ感じを受けたが、ポイント還元等で若干持ち直した部分もあると感じる。	
		卸売業	自分は、何も変わらないが、キャッシュレスのポイント還元がある為により、有利な手段でお得なら買おうと考えている人を見かける。	
		観光名所等	客入数、売上共に特に変化がない。	
		旅行代理店	改善していないが、安定している。	
		タクシー	忙しいと言っても12月の第2週、第3週の金、土あとは年末年始の1週間位。それも毎年少なくなっている。	
		美容院	お正月前後で出費が多かったのか、変化を感じません。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	下北	ガソリンスタンド	以前は年末は買物客が多かったですが、年々普通の日と変わらないようになってきています。
	企業	東青	建設	見方は様々だが市内の建設業は一頃の「どん底」時期よりはマシな状況だと思う。
	企業	津軽	食料品製造	日常的な食品の買物に関しては景気の動向は感じられない。
	企業	県南	食料品製造	継続して上向き経済環境でない。
	企業	県南	建設	増税前に一時的な駆け込み需要があったが、今は例年並に戻ってきているのではないかと…。
	企業	県南	経営コンサルタント	個人の給与増による所得増は、確実に進んでおり消費増動向も上向きだと思いますが、地域の利益は、中央の大企業（アマゾンなどのネット企業を含む）に吸収されている。
	企業	県南	広告・デザイン	広告の出稿量が年々減少している。テレビ等の電波媒体は多くなっているように感じるが、代理店の場合、利益が20%で作業量に対してあまり利益が残らない。
	雇用	県南	新聞社求人広告	消費税増税で景気に影響が出るか心配したが、特に変わっていないように思う。
やや悪くなっている	家計	東青	乗用車販売	売上が前年を下回っている。
			スーパー	10月は、消費増税直後のまとめ買いの反動がありましたが、12月はかろうじて前年をクリア。お客様の財布のヒモはカタイ。
			衣料専門店	10月度の調査回答で再開発の事業関係から大型店が休業に入り通行量が急減している、消費税導入が消費にブレーキをかけているようです。
			家電量販店	雪が少ない事による除雪用品の落ち込み。増税駆け込みの反動。
			レストラン	毎年のことだが、冬期はどうしても落ちる。
			都市型ホテル	大きなイベントや大会等がなく利用客数や売上が前年を下回った為。
			観光名所等	季節変動による入館数の減少。
			タクシー	3ヶ月前の「悪い」より、空から降るモノも降らずの暖冬で更にやや悪さを増しているという意味。
			パチンコ	10月消費税増税後11月は感じられなかったが12月に入り集客の落ち込みが目立ってきた。
			住宅建設販売	消費増税の効果がつづき、前年対比受注マイナスとなっているため。
	津軽	衣料専門店	近隣商店街で閉店する店が何か所がある。	
		スーパー	消費税増税による買い控え。	
		乗用車販売	10月の増税から販売不振が続いている。	
		商店街	消費税増税による駆け込み消費の影響からか、街の賑わいが減ったように感じた。	
		旅行代理店	売り上げの減少。	
		住宅建設販売	お客様の動きが一旦少なくなったと思うからです。（イベントへの参加人数がこれまでよりも少ない）	
	県南	コンビニ	買物は必要最小限にとどめている感があります。	
		家電量販店	9月度の増税での反動有り。	
		一般飲食店	消費税アップが徐々にきいて来ている様に感じられる。又、パート不足による売上の伸び悩み等。	

現状	分野	地区	業種	理由	
やや悪くなっている	家計	県南	スナック	12月週始めがとくに暇だった。	
			パチンコ	消費税が上がりに、収入は変わらない。これでは、サイフのひもは固くなります。	
			ガソリンスタンド	消費税増税による需要の前倒しの影響、暖冬傾向により商品の動きが鈍いこと。	
			設計事務所	コストカットの要望が増えている。	
			住宅建設販売	消費税増税の為。	
		下北	スーパー	売上動向からみて。	
			一般飲食店	年末ですが昨年よりも忘年会も減っていますし（昨年の半分）、ここはわりと繁華街なのですが人通りが少なくなっています。	
			都市型ホテル	冬期間は宿泊客が減ります。毎年の事ですが。	
	企業	東青	食料品製造	コストがあがり値上げをすると高ければ買わないと判断される。	
			経営コンサルタント	漁業が全般に水揚げが落ち込んでおり、需要に応じ切れていない。年末おせち料理等に人気が出たところもあるが消費全体に影響する程ではない。	
		津軽	経営コンサルタント	大きな気候災害もなく、りんごや米等の農作物の収穫はまずまず良かったが、10月からの消費税増税は、消費者に響いてきているようだ。	
		県南	飲料品製造	増税の影響が大きい。日本酒は軽減税率にならず10%。出荷の動きにもぶい。小売店店頭の状況もよくない。	
			電気機械製造	米中貿易摩擦で世界的に設備投資が滞っていて受注が低調です。	
		下北	食料品製造	増税が響いていると思う。	
	雇用	東青	新聞社求人広告	消費意欲の落ち込み、将来への不安による節約志向が強い。さらに暖冬少雪も影響していると思う。	
		津軽	新聞社求人広告	消費増税の影響だろう。消費が落ち込んでいる。	
		県南	人材派遣	人材不足（労働力不足）が加速している。	
悪くなっている	家計	東青	コンビニ	客数が減って売上が下がっている。	
			津軽	一般小売店	消費税アップにより、キャッシュレス5%バックでクレジットカードの人は良いが、現金で買物をする方にはマイナス影響である。
				一般飲食店	増税の影響。
		レストラン		客足がにぶっている。	
		県南	百貨店	高額な福袋（1万以上）の動きが極端に悪かった。	
			レストラン	市街を歩く人の数があきらかに少ない。平日の夜は全く人が歩いていない。	
	下北	コンビニ	イベントがあっても全然だめだった。楽しむ余裕がないのかなと思う。		
		一般小売店	増税の影響が出てきました。年金世代の来店が、目に見えて減りました。御歳暮の売上も大幅に減り、切り詰めるのは交際費という事です。		
	企業	津軽	飲料品製造	どの企業に聞取りしても不景気の話をしていた。	
			広告・デザイン	仕事量が少なく売上高も減少している。	

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由	
良くなる	家計	東青	一般飲食店	相対的なことですが対策のとり方だと思います。まわりに合わせて値上げをしなかったのでその分集客ができました。	
やや良くなる	家計	東青	旅行代理店	オリンピックが近くなって消費があれば良くなる？	
			津軽	美容院	まだまだ、キャッシュレス還元の効果は続いていくと思う。
				観光型ホテル・旅館	旧正月によるインバウンド来訪。
			都市型ホテル	オリンピックイヤーでもあり、政府の景気対策に期待したい。	
	設計事務所	消費増税の前に駆け込みで納めた物件が多かったため、増税後は件数が大きくダウンしたが、この時期になって再び動き出したと感じます。			
	県南	一般小売店	青森県はどうかあやしいが、東京オリンピックを目前に様々な業界で盛り上がりはあると思う。		
		旅行代理店	米中決着で良くなる。		
		美容院	五輪や卒業、入学、就職の変動に期待します。		
住宅建設販売		年が明けると、物件を新春になるとさがしはじめる為。			
変わらない	家計	東青	スナック	良くなるようにそれなりに努力して期待してはいますが、見当がつきません。因みに昨年末お知り合い二人が閉店致しました。	
			コンビニ	必要な物以外買わないので、客単価が下がっている為。	
			スーパー	東京オリンピックに向け、良くなることを期待している。	
			衣料専門店	大型店の休業、消費税導入で消費減退が変わらないが本年度の降雪量の少なさは来街者にとっては好条件である事から、悪いながらの横ばい。	
			家電量販店	雪が少ない事による除雪用品の落ち込み、増税駆け込みの反動が続くと思われる為。	
			一般小売店	政府の増税対策の終わる6月までは現状維持と思うから。	
			商店街	暖冬とも思われるが、好天に恵まれ外出する事が多くなっている→客数は多いが、客単価が落ちている傾向がみられる。	
			卸売業	軽減税率制度はありますが、消費はのびていないように感じます。	
			ガソリンスタンド	中小企業では、年休取得が定着せず、わずかの余暇の増加では消費の増加につながらない。	
			設計事務所	少しずつ表立って景気の落ち込みが出てくるようにも思うが？	
	津軽	コンビニ	プレミアム商品券が無くなればどうなることやら。		
		乗用車販売	前回の消費税upの時には不振が1年以上続いた。		
		一般小売店	キャッシュレス5%バックでクレジットカードの人は良いが、現金で買物をする方にはマイナス影響が続くと思われる。		
		観光名所等	いまのところ、インバウンドが冬場を支えてくれている。多少悪い傾向なれど津軽はりんごが今年は安定。		
		パチンコ	特になし。		
	県南	衣料専門店	生活全般の変化が特に無い為。		

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	家電量販店	オリンピックで少し上向き、その他反動分も有りプラスマイナスゼロ。
			商店街	気温は低いが、降雪が少なく、シーズンの需要が小さく感じる。
			卸売業	収入は、変わらないので変わりようがない。
			一般飲食店	天候の不順等、良くなる材料が皆無に等しい。
			スナック	「忙しい」と言う人が少ない気がする。
			観光名所等	季節的な商品扱いなので、大きな変動がないと思われる。
			タクシー	起爆剤がないし、人口減少、乗り物は公共交通、買い物は最小限にして、皆さんギリギリの生活。
	下北	一般飲食店	商店をしめている所が多い気がする。	
		都市型ホテル	春になり人の流れが出て来る迄は変化ないでしょう。	
		ガソリンスタンド	報道をみると、都内や観光地で外国人が多く来ているようですが、下北で会う機会が殆どありません。多少でも来てくれれば景気も良くなると思うのですが…。	
	企業	津軽	電気機械製造	現状の受注がピーク状況のため。
			県南	食料品製造
		県南	飲料品製造	キャッシュレス促進補助+オリンピックの明るい話題で、増税の影響とトントンか。
			建設	依然として少子高齢化で地方の景気は浮上の兆しは見えず、若者の流出が続いている現状では、良くなる材料はない。
経営コンサルタント			少子化、人口減による人材不足に加え、働き方改革などにより受注を増やせない。	
広告・デザイン			特別、良くなる要素がない。オリンピック等、全て中央での話で地方に恩恵はないと思う。	
雇用	東青	新聞社求人広告	地域経済を好転させられる好材料が見当たらない。	
		津軽	新聞社求人広告	春まで変化はないように思える。
		県南	新聞社求人広告	たった3カ月だと変わらないと思ったから。
やや悪くなる	家計	東青	乗用車販売	前向きな明るい材料が無い。
			レストラン	先が見えない。
			都市型ホテル	全体の景況感が悪い上に、冬期間は毎年落ち込む為、予約状況も伸びなやみ状態。
			パチンコ	正月も活気がなかったのでこの先も続くと思います。
			住宅建設販売	まだまだ消費増税の効果（影響）が継続し、もっと財布のヒモが固くなり、まして家を買おうというマインドは上がらないと思うので…。
	津軽	衣料専門店	ネットでお買物をする人が多くなっている。	
		商店街	景気低迷、雪不足等が重なり、街も冬のイベントも盛り上がり欠けている。	
		スナック	2月に入ると3月初めまでは悪くなる。	
		旅行代理店	国際政治の不安定。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	津軽	住宅建設販売	消費税増税等で浮き足立ったお客様も、慎重さを取り戻しつつあると思うから。又、3～4月以降の工事着工ということもある。
			県南	コンビニ
		百貨店		中東の情勢不安定による原油高。負担が増える。
		パチンコ		今後、景気が悪くなれば、遊興費がおのずと削られるのでお客様の来店回数なり遊ぶ時間が減るのではないかと。
		ガソリンスタンド		消費税増税による、消費支出、個人消費の停滞。
		設計事務所		社会情勢が悪く、消費マインドでないと感じる。
		下北		コンビニ
			スーパー	売上動向からみて。
	企業	東青	食料品製造	食品業界はとてきびしいです。
			経営コンサルタント	年末需要は売上げの伸びなやみが見られ、消費増税の影響が強いと思われる。これは今後も続くのではないかと。
		津軽	食料品製造	少しずつ消費税増税の影響が出て来るのではないかと。
			広告・デザイン	見積依頼件数が減少しており、工事見込量が少ない。
		県南	電気機械製造	戦争が起こりそうな心配と、官製の賃金上昇で企業収益は悪化しじわじわと景気に悪影響を与える。
下北		食料品製造	増税が響いていると思う。	
雇用	県南	人材派遣	人材不足に加え、同一労働法等、ビジネス環境に変化がある。	
悪くなる	家計	東青	タクシー	やや悪くなる程度で済むかもという楽観論もどこかに抱いていたけれど、数日前までは予測もしていなかった突然の中東情勢の混乱とその影響による原油高がこの寒冷時期と重なったことで景気の更なる冷え込みが心配。
			津軽	レストラン
		県南	レストラン	卒業シーズンにかけて、出費が多いのと、子供が受験前で、飲みに出るのを自粛しているというお客様が多い。
		下北	一般小売店	可処分所得が減少していますので、景気は悪くなると思います。
	企業	津軽	飲料品製造	今後も働き方改革が影響する企業が出ると思う。

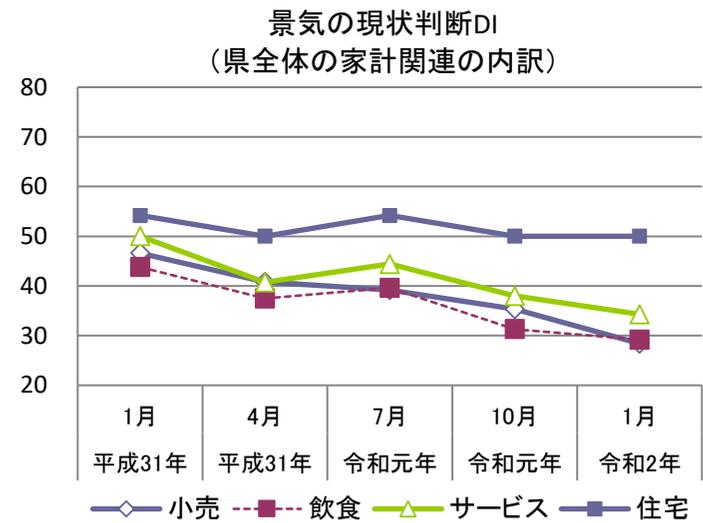
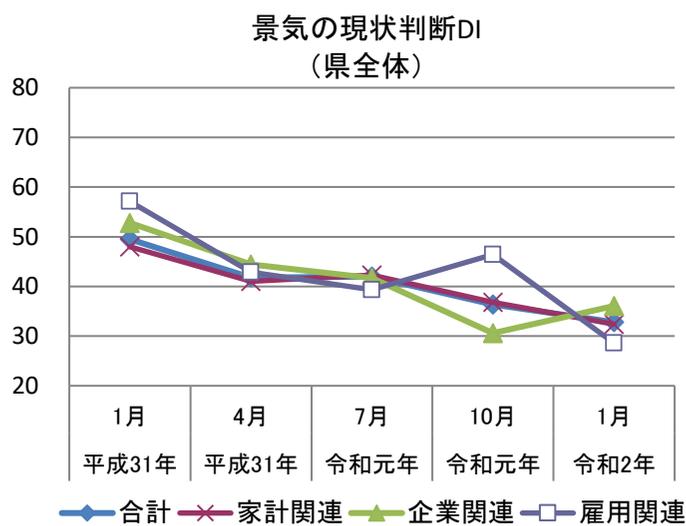
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

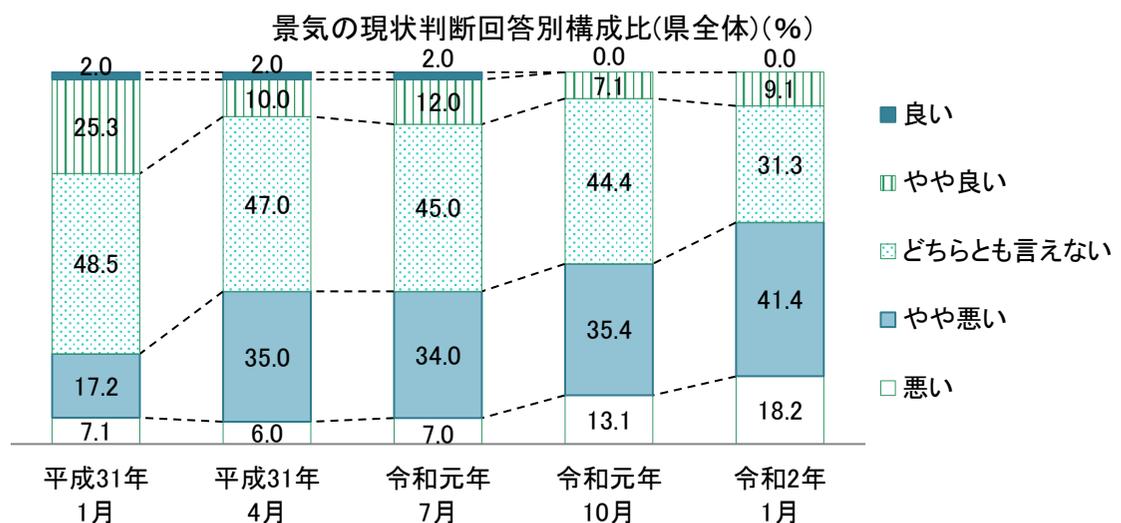
n = 99

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	49.5	41.8	42.0	36.4	32.8	▲ 3.6
家計関連	48.0	41.0	42.3	36.8	32.4	▲ 4.4
小売	46.6	40.8	39.2	35.3	28.4	▲ 6.9
飲食	43.8	37.5	39.6	31.3	29.2	▲ 2.1
サービス	50.0	40.7	44.4	38.0	34.3	▲ 3.7
住宅	54.2	50.0	54.2	50.0	50.0	0.0
企業関連	52.8	44.4	41.7	30.6	36.1	5.5
雇用関連	57.1	42.9	39.3	46.4	28.6	▲ 17.8



②回答別構成比 (%)

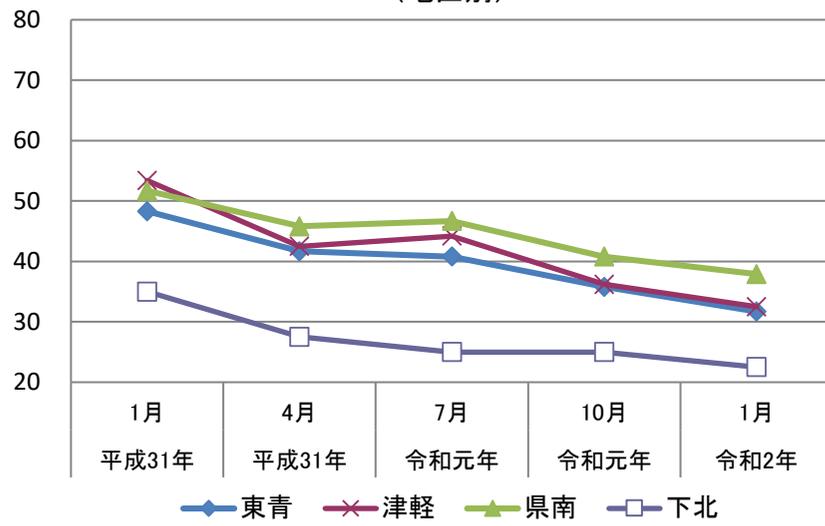
	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
良い	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	25.3	10.0	12.0	7.1	9.1	2.0
どちらとも言えない	48.5	47.0	45.0	44.4	31.3	▲ 13.1
やや悪い	17.2	35.0	34.0	35.4	41.4	6.0
悪い	7.1	6.0	7.0	13.1	18.2	5.1



③地区別DI

	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	前期調査 との差
合 計	49.5	41.8	42.0	36.4	32.8	▲ 3.6
東青	48.3	41.7	40.8	35.8	31.7	▲ 4.1
津軽	53.4	42.5	44.2	36.2	32.5	▲ 3.7
県南	51.7	45.8	46.7	40.8	37.9	▲ 2.9
下北	35.0	27.5	25.0	25.0	22.5	▲ 2.5

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	市役所新庁舎の完成、駅舎東西自由通路の本年度末完成と良いニュースが続く事から流動性が増すのではと期待している。
		一般小売店	スマホのQR決済者は増加傾向。
		商店街	業種、業態によりますが、比較的飲食関連は、好評に思われる。月に何度か家族で外食と言う気運が多くなっていると思われる。
		一般飲食店	持ち帰りが多くなったと聞くのですが、さほど変化がなかったように思います。落ち込むように思ったのですが変わらなかったです。
		レストラン	10月の増税後から、落ち込んだような気がするのと、12月末の曜日が悪かった。また、23日が祝日でなくなったのが痛かった。
		スナック	残念ながら何もいえません。
		観光名所等	台湾からの観光客の増加。
		タクシー	前回の年末年始は市内では考えられない松阪牛などがスーパーの商品に並んだりまた人々もそれをためらいつつも購入する姿も見られたりしたが、今回の年末年始は食料品は8%据置課税とはいえ全体では消費増税後の結構皆さん慎重に商品を見定めている様に見えた。また元旦休業はON/OFFのメリハリがあって良いと思うし、良い意味で元日に街の商店が眠る幼い頃の事を思い出した。
		住宅建設販売	銀行も審査基準を引き上げており、今までよりは、ローンの審査がきびしくなってきた。
	津軽	一般小売店	スーパーでも全国チェーンのところは5%バックにならないので地元のスーパーの方が混んでいるような気がする。
		商店街	中心市街地の店舗が閉店・移転しているのが、少し気がかりである。
		衣料専門店	金融会社の破産で困っている会社があると聞いた。
		観光名所等	周辺の事業所が後継者がなく困っているのが目立つ。このところ運賃の値上りに苦戦している。
		美容院	周りの方々は、いろいろ工夫して旅行や、買い物をしているのでお得な情報がたくさんある中で、楽しんでいると思う。
		設計事務所	オリンピック等の影響で建築資材の一部が入手出来ない事態となり足踏みしていた物件が多数あります。ようやく落ち着きを取り戻しつつある様です。
	県南	衣料専門店	増税に関して、複数税率がわかりにくいという声が事業者/お客様の双方から非常に多い。個人的には単純に消費税は10%一律とし年末調整の控除額等で負担軽減策を実施すれば良いと思う。
		卸売業	若い方はより慎重にみえるが、キャッシュレスの還元に対して積極的な方とそうでない方の差がすごい。感心する程に勉強していると思う。
		一般飲食店	やはり人不足で苦労している。
		商店街	キャッシュレスへの関心度は高まっていると考える。
美容院		人口減の影響はこれからも続くのではと心配しています。	
旅行代理店		忘年会が少なくタクシー不振。	
下北	コンビニ	日中のうちに動いて暗くなってからは外に出ていない。	
	一般飲食店	もう少しこの町を景気よくしようと立ち上がる人達が出て来てくれればと思います。	

分野	地区	業種	自由意見
企業	東青	経営コンサルタント	高齢者の増加に伴い、必要最小限の物しか売れない状況が近づいてくるのではないかと。
		建設	新卒の若者等は「令和時代」に希望を持ってしまう。昭和時代の我々は若者達の未来の為にがんばらないと…。
	津軽	経営コンサルタント	スーパー等でのキャッシュレス還元も、年配者では特に（そうでない人も意外に）現金支払いしている人が多く見られるため、せつかくの恩恵を受けられず、増税感の方が強く感じているように見える。
		建設	令和2年、2020年オリンピック効果を全国に行き渡るように期待している。開催国として、りっぱにおもてなしをし、選手がよい成績を残せるようにがんばってほしい。米・イランの関係も先は見えないが、資源の少ない日本にとって中東の油は貴重。世界の平和を願ってやまない。
		広告・デザイン	経済の中心は東京を主とした関東地域に有り、加えて消費増税により、企業、家庭を問わず景気は全く冷えている。
	県南	電気機械製造	外国人の東北の人気観光先が秋田に抜かれたとのことで、最近では青森の観光客が若干減ったように感じます。
建設		地場のイベントホールも閉鎖が決まり、様々な催しも少なくなることから夜の飲食店やタクシー業界にも影響が出ると予想される。	
雇用	東青	新聞社求人広告	買い控え、節約志向に歯止めがかかりそうもない。
	津軽	新聞社求人広告	暖冬で季節商品の動きがよくない。

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニエンスストア、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ店、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
 - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断
参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038